

空間内の直線・平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

樋口さぶろお <https://hig3.net>

龍谷大学 先端理工学部 数理・情報科学課程

線形代数☆演習 I L05(2023-04-26 Wed)

最終更新: Time-stamp: "2023-04-26 Wed 07:18 JST hig"

今日の目標

- 平面上・空間内の直線のパラメタ表示を説明できる
- 法線ベクトルを用いた空間内の平面の方程式が説明できる



L04-Q1

Quiz 解答: ベクトルの射影

東向き単位ベクトルは $\frac{1}{\sqrt{37}} \begin{bmatrix} -6 \\ -1 \end{bmatrix}$.ペンギンの移動のベクトル $\begin{bmatrix} 4 \\ 2 \end{bmatrix}$ の, 東向きへのスカラー射影を求めて,
 $\frac{-26}{\sqrt{37}}$.

L04-Q2

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

パラメタ表示は

$$\boldsymbol{x} = \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R} \text{ はパラメタ})$$

L04-Q3

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

 $\boldsymbol{a} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix}$, $\boldsymbol{c} = \begin{bmatrix} 1 \\ 8 \end{bmatrix}$ とする.

- ① $\boldsymbol{a}t + \boldsymbol{c} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$ となる t が存在しないので, 直線上にない.

- ② $at + c = \begin{bmatrix} 5 \\ 29 \end{bmatrix}$ となる t が存在しないので、直線上にない.
- ③ $t = 2$ とすると、 $at + c = \begin{bmatrix} 5 \\ 18 \end{bmatrix}$ となるので、直線上にある.

L04-Q4

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示

方程式は,

$$\left(\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 5 \\ 7 \end{bmatrix}\right) \cdot \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \end{bmatrix} = 0$$

すなわち,

$$3x + y - 22 = 0$$

L04-Q5

Quiz 解答: 直線の方程式と点

- ① 代入すると方程式が満たされないので、直線上にない.
- ② 代入すると方程式が満たされるので、直線上にある.

L04-Q6

Quiz 解答: 直線のパラメタ表示と方程式

- ① 接線ベクトルが $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 2 \\ -3 \end{bmatrix}$. これと直交する法線ベクトル $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} n_1 \\ n_2 \end{bmatrix}$ を $\mathbf{a} \cdot \mathbf{n} = 0$ を解いて求めると, 例えば $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix}$ は法線ベクトル. よってベクトル方程式は

$$\left(\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 8 \\ 11 \end{bmatrix} \right) \cdot \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix} = 0.$$

- ② 法線ベクトルは $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 5 \\ -2 \end{bmatrix}$. これと直交する接線ベクトル $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a_1 \\ a_2 \end{bmatrix}$ を $\mathbf{a} \cdot \mathbf{n} = 0$ を解いて求めると, 例えば $\mathbf{n} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix}$ は接線ベクトル. また, 点 $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix}$ は直線上にあることがわかる. よってパラメタ表示は

$$\begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 2 \\ 5 \end{bmatrix} t + \begin{bmatrix} 2 \\ 0 \end{bmatrix} \quad (t \in \mathbb{R}).$$

平面上の直線の接線ベクトルと法線ベクトルの関係

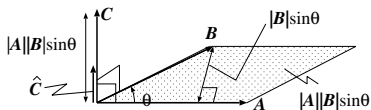
直線と垂直なベクトル (1 つとは限らない, $\neq \mathbf{0}$) を, 直線の法 (線) ベクトル, **normal vector** という. 直線の向き \mathbf{a} を $\pm\frac{\pi}{2}$ 回転して得られる.
助変数, 媒介変数 = **パラメタ (parameter)**, 媒介変数表示 = パラメタ表示

外積の直観的意味

$\mathbf{a} \times \mathbf{b} =$ \mathbf{a} と \mathbf{b} のはる平行四辺形の面積と向き

\mathbf{a} と \mathbf{b} で張った漁業用網の効率を伝えるもの

- 2本の棒 \mathbf{a}, \mathbf{b} を使って網を張るような感じ。
- 網の正対する向きが $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ の向き。(表裏あり)
- 網の面積, つまり 平行四辺形の面積 が $|\mathbf{c}| = |\mathbf{a} \times \mathbf{b}|$. 2本の棒が
違う方向を向いてるほうがたくさん魚がとれる。
- フレミングの左手の法則とか, これで簡単に書ける. $\mathbf{F} = \mathbf{I} \times \mathbf{B}$.



空間内または平面内の直線のパラメタ表示

c を通り, a に平行な直線のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.183

$a \neq 0$.

$$x - c = at$$

すなわち $x = at + c$ ($t \in \mathbb{R}$ はパラメタ)

- チェック 1 c を通る
- チェック 2 a に平行である

GeoGebra(動的幾何ソフトウェア)

2D

<https://www.geogebra.org/m/skj88vSN>

3D

<https://www.geogebra.org/m/KYg7AZ7M>



ここまで来たよ

④ 平面上の直線のパラメタ表示・ベクトル方程式

⑤ 空間内の直線・平面のパラメタ表示・ベクトル方程式

- 空間内の平面のパラメタ表示とベクトル方程式

(空間内の) 平面のパラメタ表示

c を通り, a, b に平行な平面のパラメタ表示 加藤 線形代数 p.184

$$x - c = at + bs$$

$$\text{すなわち } x = at + bs + c \quad (t, s \in \mathbb{R} \text{ はパラメタ})$$

$a, b \neq 0, a, b$ は平行でない.

<https://www.geogebra.org/m/YHmGKuJN>



L05-Q1

Quiz(平面のパラメタ表示とベクトル方程式)

$c = \begin{bmatrix} 13 \\ 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ を通り, ベクトル $a = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$, $b = \begin{bmatrix} 0 \\ 5 \\ 2 \end{bmatrix}$ に平行な平面を考える.

- ① パラメタ表示を求めよう
- ② ベクトル方程式を求めよう
- ③ 点 $\begin{bmatrix} 13 \\ 9 \\ 9 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ はそれぞれ平面に含まれるか, パラメタ表示から調べよう.
- ④ 点 $\begin{bmatrix} 13 \\ 9 \\ 9 \end{bmatrix}$, $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \\ 3 \end{bmatrix}$ はそれぞれ平面に含まれるか, ベクトル方程式から調べよう.

(空間内の) 平面の方程式

平面と垂直なベクトル (1つとは限らない, $\neq \mathbf{0}$) を, 平面の法 (線) ベクトル **normal vector** という. 平面に平行な (しかし互いに平行ではない) 2つのベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} が与えられたとき, 外積 $\mathbf{n} = \mathbf{a} \times \mathbf{b}$ で得られる.

\mathbf{c} を通り, $\mathbf{n} (\neq \mathbf{0})$ に垂直な平面の方程式 加藤 線形代数 p.184

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

$\mathbf{c} \cdot \mathbf{n} = C$ とおくと,

$$\mathbf{x} \cdot \mathbf{n} = C$$

$\mathbf{n} = \begin{bmatrix} a \\ b \\ c \end{bmatrix}$ としてこの方程式を成分で書くと,

$$ax + by + cz = C.$$

2D

<https://www.geogebra.org/m/bxNHWG6P>

3D

<https://www.geogebra.org/m/v2TedmJ2>



L05-Q2

Quiz(平面の方程式)

- ① 単位法線ベクトルが $\boldsymbol{n} = \frac{1}{\sqrt{14}} \begin{bmatrix} 3 \\ 1 \\ -2 \end{bmatrix}$ であり, 点 $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$ を通る平面の方程式を求めよう.
- ② 単位法線ベクトルが $\boldsymbol{n} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{bmatrix}$ であり, 点 $\boldsymbol{r}_0 = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \\ -4 \end{bmatrix}$ を通る平面の方程式を求めよう.

直線を境界とする半平面の式

直線

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

は平面を 2 つの半平面に分割する. 各半平面は不等式で指定される.

$$\mathbf{n} \text{ と同じ側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} > 0$$

$$\mathbf{n} \text{ と逆の側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} < 0$$

mobius L04.2

L05-Q3

Quiz(半平面のパラメタ表示)

$c = \begin{bmatrix} 4 \\ 3 \end{bmatrix}$ を通り, ベクトル $a = \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix}$ に平行な直線を考える.

- ① ベクトル方程式を求めよう
- ② 点 $\begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 4 \\ 5 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} -5 \\ 0 \end{bmatrix}, \begin{bmatrix} 6 \\ 4 \end{bmatrix}$, がそれぞれ, (y 軸の正の向きを上と思ったとき) 直線の上側, 下側, 直線上にあるか答えよう.

平面を境界とする半空間の式

平面

$$(\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} = 0$$

は空間を 2 つの半空間に分割する. 各半空間は不等式で指定される.

$$\mathbf{n} \text{ と同じ側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} > 0$$

$$\mathbf{n} \text{ と逆の側} \quad (\mathbf{x} - \mathbf{c}) \cdot \mathbf{n} < 0$$

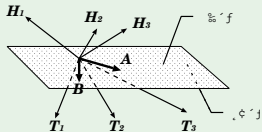
mobius L05.2

平面の中の直線, 空間の中の平面が同じ式で扱えることに気づいただろう. これは, どちらも 1 次元減った, 1 次式で書ける集合 (超平面という) だという共通点があるから.

L05-Q4

Quiz(空間内の平面の分ける半空間)

ベクトル $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} +1 \\ -2 \\ 0 \end{bmatrix}$, $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{bmatrix}$ とする.



- ① $|\mathbf{b}|$ を求めよう.
- ② $\mathbf{a} \cdot \mathbf{b}$ を求めよう.
- ③ $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ を求めよう.
- ④ $\mathbf{b} \times (\mathbf{b} - 2\mathbf{a})$ を求めよう.
- ⑤ 原点 $\mathbf{0}$ を通り, ベクトル \mathbf{a}, \mathbf{b} の両方がのる平面は 1 つに定まる. (図では薄く塗られている. それは xy 平面とは異なる). 図は, その平面を斜めから見たものである. ベクトルがこの平面の表裏どちら側を向いているかについて, $\mathbf{H}_1, \mathbf{H}_2, \mathbf{H}_3$ のようなベクトルを表向き, $\mathbf{T}_1, \mathbf{T}_2, \mathbf{T}_3$ のようなベクトルを裏向きということにする. $\mathbf{c} = \begin{bmatrix} 0 \\ 6 \\ 1 \end{bmatrix}$ が表向きか裏向きか考えよう.